

「住んでよかった、 住み続けたい高梁」 を目指して

9月30日の高梁市長選挙で、近藤隆則市長が再選され、10月24日、2期目がスタートしました。

近藤市長は、1期目の4年間、職員削減や市長給与の20%削減、指定管理委託料の見直しなど徹底的な行財政改革を進め、健全な財政状況に改善しました。また、ケーブルテレビ網の全市拡張整備、18歳までの医療費を無料化した子育て支援対策、企業誘致、定住推進、健康福祉対策に重点的に取り組んできました。

今月号は、近藤市政2期目の決意と3つの重点施策を紹介します。



2期目にあたって

私は、このたびの市長選挙におきまして、多くの市民の皆様の信任をいただき、再び市政のかじ取りをゆだねられました。市民の皆様の熱い期待をこの胸に、また全身に感じていきます。

今後、市民の皆様の期待に応えるために、市政を進めるにあたっては、今まで以上に市民の皆様の「意見・提案を取り入れるため、公聴機能の充実を図った上で、高梁市新総合計画や行財政改革大綱を中心にすえて、市政運営を行っていきます。

市民皆様のご意見を市政に反映させ、「高梁に住んでよかった、住み続けたい」と言われる、そんな元気あふれるまちづくりを目指します。そのため、今までの4年間で芽吹かせた主要な制度・事業は継続し育てていくながら、新たに3つの視点として、「元気な産業づくり・まちづくりの推進」、「教育環境・地域環境の整備・充実」、「実行力のある市政の推進」を掲げ、市勢振興に取り組んでまいります。引き続き、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

高梁市長 **近藤隆則**

こんどう たかのり
【近藤 隆則市長の略歴】

昭和34年2月1日生まれの53歳。
岡山大学工学部電気工学科卒業後、昭和56年、高梁市役所に入庁。26年の市職員生活にピリオドを打ち、平成20年9月、高梁市長に初当選。平成24年9月30日の高梁市長選挙で再選されました。
趣味は、鉄道旅行やバドミントン、料理、ゴルフ。松原町神原在住。



2期目のスタートにあたり、課長会議で訓示
(10月24日)

再選後の初登庁で職員から拍手で迎えられる近藤市長(10月1日)